

ITU-T SG17 副議長 (WTSA-16 選出(新任)) 三宅 優氏 (KDDI) に聞く

【読者のための豆知識】

SG17 (第17研究委員会)の活動内容：
セキュリティ

====

専門領域:高速通信プロトコル、ネットワークセキュリティ、
情報セキュリティ(認証、プライバシー保護等)

略歴: 1988年 慶應義塾大学工学部電子工学科 卒業
1990年 同大学大学院理工学研究科電気工学 修士課程修了
1990年 国際電信電話(株)(現 KDDI(株))入社 KDD 研究所(現 KDDI 総合研究所)
2005年 ITU-T SG17 参加 P2P セキュリティ技術標準化
2009年 電気通信大学大学院情報システム学研究科 博士課程修了
同年 ITU-T SG17 Q6 アソシエイトラポーター就任
2016年 株KDDI 総合研究所 セキュリティ開発グループ
同年 ITU-T SG17 副議長就任(現在に至る)

====



— 先の WTSA-16 での選出そしてご就任おめでとうございます。
今回、副議長に任命されたことについて率直なお気持ちは？

(三宅) 新任の副議長とのことで緊張しています。ITU-T の活動に少しでも貢献できればと考えています。

— ご担当事項とご経歴、ITUとの係わり、その他の標準化機関での活動などを教えてください。

(三宅) 主にセキュリティに関連する研究活動に従事しています。ITU-T SG17 には 2005 年から参加し、
ユビキタス・セキュリティ関連のアソシエイトラポーターを担当していました。セキュリティ分野では、GSMA 、
oneM2M の活動に参加しています。

— これから副議長として重責を担われるわけですが、次研究会期におけるご担当の研究委員会の
最重要テーマ・課題はどのような事とお考えですか？

(三宅) 次々と新しい技術・サービスが導入される ICT 業界において、これらに対応したセキュリティ対策を
先回りして検討することが重要になってきています。他の標準化機関等とも連携しながら、新たな
サイバー攻撃に迅速に対応できる取り組み、勧告作成が必要かと考えています。

— 副議長としての抱負をお聞かせください。また、どのような点に力点を置いて活動される予定ですか？



(三宅) SG17 は新任の副議長が多く、私もその一人ですが、これまでの
SG17 参加の経験を生かして活動活性化に貢献したいと考えて
います。セキュリティは他の SG や外部の機関と連携も重要
ですので、連携を通じて有益な勧告作りを進めます。

— 副議長としての難しさや壁(障壁)、そうしたことへの対処方
法はどうお考えですか？

(三宅) セキュリティ対策では、プライバシーの観点から国や地域でポリ
シーが違うことがあり、方針について合意が得られにくいことも
多々あります。ITU-T で決めること、各国・地域で対応すべき
ことを整理し、取り組みを前に進めることが重要かと考えて
います。

— わが国、各加盟国の政府関係や ICT 産業界からの理解や協
力が大変重要で必要なものだと思いますが、これについての期待をお聞かせ
ください。

(三宅) サイバー攻撃やスパム行為により経済的な被害や信頼の失墜が
発生している状況であり、有効な対策が求められています。
各国政府の協力により ITU-T の立場を生かしたセキュリティ
対策が実現できると考えています。

— 個人的な信条とか、プライベートな時間でのご趣味などをお聞かせください。

(三宅) セキュリティ対策で困るのは、どこまで対策すれば良いのか。対策を強化すると、費用が掛かり利便性が低下します。全てを勘案して最適なポイントを見つけることが重要です。これって、何にでも当てはまると思います。

— このインタビューにお時間を割いていただき有難うございました。これからの一層のご活躍をお祈りしております。読者の方へのメッセージがあればお聞かせください。

(三宅) SG17 では多くの分野のセキュリティ対策について検討しています。皆様のご要望やご協力が必要ですので、SG17 の活動に興味を持っていただければと考えています。よろしくお願いします。

文責:(一財)日本 ITU 協会 (M)